



令和 5 年 8 月 2 日
航空局航空ネットワーク企画課

各空港関係者の空港業務に係る好事例を公表します！ ～空港業務を持続可能なものにしていくための取組～

グランドハンドリングや保安検査をはじめとする空港業務の持続的発展に向けて、各空港関係者が実施した主な取組を事例集としてとりまとめました。

今後、国土交通省では、この事例集を基にさらに地域での取組を促していくこととしています。

- グランドハンドリングや保安検査等の空港業務については、コロナの影響や急速な航空需要の回復等により人材不足という課題に直面しています。
このため、国土交通省では、学識経験者や関係業界による「持続的な発展に向けた空港業務のあり方検討会」を設置し、取り組むべき施策の方向性について「空港業務の持続的な発展に向けたビジョン」の中間とりまとめを去る6月9日に公表したところです。
- 人材不足に悩む各空港においては、関係者が連携しつつ小さなことでもできることから速やかに取り組んでいくことが重要となります。その参考となるよう、今般、全国の空港関係者から紹介頂いた取組を事例集としてとりまとめました。
国土交通省では、引き続き各空港関係者の取組事例の収集を継続して内容の充実等を図るとともに、中間とりまとめに盛り込まれた各施策の実現に向けて関係者と連携して取り組んでいきます。

【添付資料】

- ・ 持続的な発展に向けた空港業務に係る取組事例集 ※以下のHPにも記載
https://www.mlit.go.jp/koku/koku_fr5_000058.html

【参考】

- ・ 空港業務の持続的発展に向けたビジョン 中間とりまとめ（概要、本文、参考資料）
※以下のHPに掲載
https://www.mlit.go.jp/koku/koku_tk5_000126.html

【問い合わせ先】

国土交通省航空局航空ネットワーク企画課 太田、鈴木、飛田
連絡先：03-5253-8111（内線 49-114、49-115、49-107）
03-5253-8715（直通）

Ver.1.01

持続的な発展に向けた 空港業務に係る取組事例集

令和5年8月
国土交通省航空局
航空ネットワーク企画課

持続的な発展に向けた空港業務に係る取組事例集

趣旨

グランドハンドリング（以下「グラハン」という。）や**保安検査をはじめとする空港業務**については、コロナの影響等により、過去にない規模で航空需要が激減する状況が続いた結果、**採用抑制や離職者の増加等が余儀なくされました。**

このような、業界を取り巻く環境の大きな変化に対しては、空港業務会社、地方自治体、空港会社等の**地域の関係者が総力を挙げて取り組むことが不可欠**であることから、空港毎にワーキンググループを設置し、地方空港も含め、関係者一丸となって人材確保・育成、業務効率化等に取り組んできたところです。さらに、空港業務の持続的な発展に向け、学識経験者や関係業界による「**持続的な発展に向けた空港業務のあり方検討会**」を設置し、取り組むべき施策の方向性についてご議論いただき、「**空港業務の持続的な発展に向けたビジョン**」の**中間とりまとめを公表**したところです。

今後は、これらを踏まえ、官民の関係者が総力を挙げて具体的な取組を進めていくことにより、空港業務をとりまく構造的課題の解決等を図っていくことが重要ではありますが、他方、**小さなことでも各空港関係者ができるところから取り組んでいくことも望まれます。**

空港業務を持続可能なものにしていくためには、地方自治体を含む官民の関係者が連携して取り組む必要があることから、**全国の空港関係者における取組状況を「参考事例集」としてとりまとめ、他の空港関係者の参考となるよう情報提供**させていただくこととしました。

概要

- 名称**：持続的な発展に向けた空港業務に係る取組事例
目的：各空港関係者が、空港業務を持続可能なものにしていくための取組みを検討・実施する際に、参考となるよう作成
対象：空港WGを中心とした空港業務に関係する者
 （例）空港管理者、空港運営権者、地方自治体、航空・空港関係事業者

6つの視点に関連した取組事例

視点1	働き方
視点2	需要変動への対応
視点3	多様な人材受入
視点4	イノベーション
視点5	視点1～4を踏まえた上での空港毎の対応
視点6	官民の関係者の連携

1. 空港業務会社

従業員通勤バス導入(新千歳空港)

事業概要

- 主体
 - 株式会社キャスト
- 名称
 - 従業員通勤バスの運用
- 内容
 - ・ 通勤時間の短縮及び通勤時(特に深夜時間帯)における女性社員の安全性確保のため、社員寮と空港を結ぶ通勤バスの運用を開始
 - ・ 午後の時間帯は千歳駅近くのスーパー等に寄れるよう千歳駅経由便も運行し、利便性向上も実現
- 導入の背景
 - ・ 空港の駐車場不足
 - ・ 公共交通機関を利用する場合、シフトの関係で夜間の徒歩移動が必要になり、安全性の確保が必要
- 実績 (波及効果)
 - ・ 通勤時間の短縮及び安全性向上
 - ・ 空港駐車場利用希望者の抑制



【参考情報】

関連URL： (株)キャストHP <http://www.cast-jpn.jp/>

担当部署・連絡先：管理本部 総務・経理グループ 0123-46-5472

インターンシップ受入拡大(静岡空港等)

事業概要

- 主体
株式会社エスエーエス
- 名称
人材確保・雇用定着
- 内容
 - ・ インターンシップの積極的な受入
→ 専門学校生・大学生のインターンシップ受入を増加

- 導入の背景
雇用の定着に向け、賃金のベースアップを含めた労働条件の向上を図るとともに、インターンシップを体験させることでやりがいを感じてもらう



(インターンシップの受入)



【参考情報】

関連URL：<https://www.sas-web.jp>

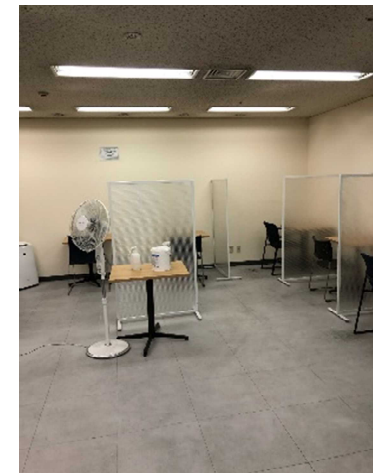
担当部署・連絡先：(株)エスエーエス 総務部総務課 ・0548-29-2850

従業員の待遇改善事業(成田空港)

事業概要

- 主体
 - 国際空港上屋株式会社
- 名称
 - 人材確保・雇用定着
- 内容
 - ・ 労働環境整備
 - 事務所改修及び休憩スペースの充実
 - ・ 地域貢献
 - 地域イベントへの参加
 - ・ 航空会社との交渉値上げ交渉
 - ハンドリング料金の値上げ・ハンドリング業務に係る負荷軽減

- 導入の背景
 - ・ 業務に取り組みやすい環境の整備
 - ・ 地域貢献活動を通じ、業界の魅力発信
 - ・ 賃金等の待遇改善
- 実績 (波及効果)
 - ・ 休憩スペースの改修



(改修後の休憩スペース)



【参考情報】

関連URL : <https://www.iactcgo.co.jp/>

担当部署・連絡先 : 国際空港上屋 (株) 総務部・0476-33-7801

事業概要

- 主体
 - ジャパン・エアポート・グランドハンドリング（株）
- 名称
 - 定着率の向上と採用強化
- 内容
 - ・ 従業員全体での給与3～5%アップ
 - ・ 個々の従業員への負担軽減を趣旨に、勤務時間帯の再検討や人員の増員（30名）
 - ・ 資格手当の増額や新設を検討
- 導入の背景
 - ・ コロナ後の空港内での深刻な人員不足による生産性の低下及び業務増への対応
 - ・ 既存職員の離職者の抑制



【参考情報】

予算額：募集広告費として300万円/年

 関連URL：<https://www.jag-co.com/>

担当部署・連絡先：ジャパン・エアポート・グランドハンドリング（株） 事業部業務管理課・03-5757-8781

経験者採用優遇制度等(鹿児島空港)

事業概要

- 主体
 - 南国交通株式会社
- 名称
 - 空港従事者の要員確保対策
- 内容
 - ・ 他社からの出向・応援体制確立
 - 空港会社から出向受入、航空会社の人員派遣
 - ・ ジョブリターン
 - 退職時の基本給を適用・試用期間なし
(R 5.4月以降)
 - ・ ジョブリターン(短時間労働者)
 - O G採用(R 5.4月以降)
 - ・ 経験者採用優遇制度
 - 業務経験を有する者の試用期間を短縮
 - ・ 就職支度金の支給
 - 1年以上の勤務を条件に20万円を支給
(R 5.4月以降)

○ 導入背景

航空需要の回復に向け、コロナ禍の影響で減少した要員の確保が必須であったが、鹿児島県における生産人口の減少幅が大きいことに加え、職場の空港アクセスが不便という立地特性を有することから、人手の確保が困難

○ 実績(波及効果)

- ・ 出向受入 2名
 - ・ 新規採用(経験者含) 4名
 - ・ ジョブリターン 8名
- 計 12名(R5.1~6月現在)



【参考情報】

関連URL：<https://nangoku-kotsu.com/recruit/air/>

担当部署・連絡先：南国交通株式会社 人事労務部・099-255-2147

賃金改定・女子寮新設(鹿児島空港)

事業概要

○ 主体

南国交通株式会社

○ 名称

空港従事者の離職防止対策

○ 内容

・ 賃金の改定

→初任給(基本額)、役付(管理職)手当、賞与の増額及び空港業務手当の新設(業務資格手当、インストラクター手当等)

・ 女子寮の新設

→空港から徒歩5分圏内にマンションタイプ(42室)を新築

○ 導入背景

航空需要の回復に向け、コロナ禍の影響で減少した要員の確保が必須であったが、鹿児島県における生産人口の減少幅が大きいことに加え、職場の空港アクセスが不便という立地特性を有することから、人手の確保が困難

○ 実績 (波及効果)

初任給 : 3% / 月 増額

役付手当 : 約7% / 月 増額

空港業務手当 : 約450% / 月 増額

賞与額 : 0.5月 / 年 増額

(R5.4月以降)



【参考情報】

関連URL : <https://nangoku-kotsu.com/recruit/air/>

担当部署・連絡先 : 南国交通株式会社 人事労務部・099-255-2147

通年採用制度(関西空港等)

事業概要

- 主体
スイスポートジャパン株式会社
- 名称
通年採用制の環境整備
- 内容
通年採用を実施するために、ウェブサイト開設・採用活動の一部外注・面接/研修チーム組成等を実施



- 導入の背景
急激な需要変動や、入社希望者のニーズに対応するため、通年採用制を導入
- 実績（波及効果）
毎月一定数の採用者を確保

RECRUIT

募集要項

- ランプサービス
- カーゴサービス
- 旅客サービス
- オペレーションサービス
- メンテナンスサービス

【参考情報】

関連URL：<http://www.swissport.co.jp/recruit/lp/>
 担当部署・連絡先：スイスポート（株）企画管理部 072-447-9631

鉄道駅における広告掲載(関西空港等)

事業概要

○ 主体

スイスポートジャパン株式会社

○ 名称

南海線なんば駅 広告ジャック

○ 内容

6/12~17にかけて、関西空港沿線の南海線なんば駅において、階段・デジタルサイネージ等にスイスポートジャパンの広告を掲載

○ 導入の背景

- ・ 認知度向上による採用力強化
- ・ 既存社員のモチベーション向上



【参考情報】

関連URL: 該当なし

担当部署・連絡先: スイスポート(株) 企画管理部 072-447-9631

外国人の登用促進(羽田空港等)

事業概要

- 主体
JALグランドサービス株式会社
- 名称
人財リソースの多様化
- 内容
シェアハウス形式の単身寮やポケットークの配備を行うとともに、各種地域交流イベントへの参加などの取組を実施することで、外国人人財が定着しやすい環境を整備し、特定技能1号等の外国人人財を積極的に登用



- 導入の背景
コロナ禍の影響による人材不足の深刻化や今後の労働人口減少を考慮し、リソースの多様化を目的
- 実績（波及効果）
7月1日時点で157名在籍



【参考情報】

関連URL：http://www.jgsgroup.co.jp/?page_id=50 (JALグランドサービス採用募集HP)

担当部署・連絡先：日本航空 空港業務部 (詳細は各社)

GSE車両に係る先進技術の導入(関西空港等)

事業概要

○ 主体

ANAグループ

○ 名称

先進技術の導入

○ 内容

航空機の貨物室における貨物及び旅客手荷物の積み降ろしを容易にするローラートラックコンベアーや、リモコン操作で航空機のプッシュバックが可能なりモコン式プッシュバック車両の導入



○ 導入の背景

作業負荷・工数の軽減、安全性・確実性の向上を目的

○ 実績 (波及効果)

- 作業員の負荷軽減

- 資格取得の早期化

→通常の牽引車操縦に必要な資格取得(5,6年)と比較し、リモコン式プッシュバック車両の操作技術は習得が容易であり、若い社員(採用後2年程度)でも資格を取得可能

○ 他の支援制度との連携

FAST TRAVEL 推進支援事業費補助金制度の活用 (ローラートラックコンベアー)

【参考情報】

関連URL : ①<https://powerstow.com/rollertrack-conveyor/> ②<https://www.mototok.com/>

③<https://www.anahd.co.jp/group/pr/pdf/20190704-2.pdf>

担当部署・連絡先 : ローラートラックコンベアー ANA関西空港(株) 企画部企画課 072-456-7800 ・③URL内問い合わせ先参照

自動追従型車椅子の導入(成田空港)

事業概要

- 主体
全日本空輸株式会社
- 名称
自動追従型車椅子の導入
- 内容
成田空港の国際線乗り継ぎ用に、自動で前の車椅子を追従する「自動追従電動車椅子」を導入
- 導入の背景
旅客ケアスタッフの人材不足、国際線旅客数増加への対応
- 実績（波及効果）
1名のスタッフで最大3名の旅客ケアが可能（省人化）



【参考情報】

関連URL：<https://www.anahd.co.jp/group/pr/pdf/20191009.pdf>

担当部署・連絡先：※上記URL内問い合わせ先を参照

2. 空港会社

事業概要

○ 主体

成田国際航空専門学校・成田国際空港(株)
・スイスポートジャパン(株)・インテックス(株)

○ 名称

さあ、この春は空港で学ぼう！～@成田空港～
さあ、この夏は空港で学ぼう！～@成田空港～

○ 内容

- ・ 専門学校が行っているオープンキャンパスを3月と6月に成田空港で開催
- ・ NAAが成田空港の説明や、制限エリア内のバスツアーを実施
- ・ グラハン社にも協力頂き、現場作業見学や、実際に成田空港で働く社員との座談会を実施

○ 導入の背景

- ・ 専門学校への入学者数が減少している中、空港としても航空業界への進学者数増加に向け協力をできないか学校と協議を進め、実施
- ・ 空港内見学や実際に空港で働く人の声を届けることで、空港業務の認知・魅力向上を目的

○ 実績（波及効果）

3月：31名参加

6月：25名参加

本オープンキャンパスを機に、高校生の専門学校への訪問にもつながった



【参考情報】関連URL：

担当部署・連絡先：成田国際空港株式会社 エアライン営業部 グランドハンドリングG TEL:0476-34-4631

合同企業説明会・空港見学会の実施(成田空港)

事業概要

○ 主体

成田国際空港(株)

○ 名称

成田空港 合同企業説明会・空港見学会

○ 内容

2月と5月に幕張メッセにて、成田空港における地上取扱業務に関連する企業（グランドハンドリング・貨物・保安検査 等）による合同企業説明会及び実際の業務を見学する空港見学会を実施

また、説明会の概要について、1分半にまとめた動画をYouTube成田空港公式チャンネルに掲載



○ 導入の背景

成田空港における今後の更なる需要回復を見据え、空港管理者として、空港の円滑な運用の維持のため、人員不足が懸念される職種に対する合同企業説明会の場を提供

また、就職後のミスマッチを防ぐため、実際の職場がイメージできるよう空港見学会を実施

○ 実績（波及効果）

【第1回】

参加者：477名(うち空港見学会：92名)

【第2回】

参加者：363名(うち空港見学会：135名)

【参考情報】関連URL：https://www.naa.jp/jp/recruit/narita_oshigoto.html

担当部署・連絡先：成田国際空港株式会社 エアライン営業部 グランドハンドリングG TEL:0476-34-4631

事業概要

○ 主体

中部国際空港株式会社

○ 名称

セントレアを支える企業合同採用説明会

○ 内容

グランドハンドリング等を担う空港内事業者計17社合同で、採用説明会を開催

説明会の冒頭には航空局職員より、空港業務の意義等について説明するとともに、多数の事業者に対する関心を持ってもらうべく、特典として複数事業者のブースを回った場合にノベルティグッズを配布



○ 導入の背景

空港での様々な業務への興味を持ってもらう機会の創出には、個社ごとよりも各社合同での説明会がより効果的と考え、各社合同での採用説明会を空港WGにて計画

○ 実績

学生・経験者 約300名が参加



説明会の概要紹介（航空局職員）



各企業ブースでの説明

【参考情報】

関連URL：<https://www.centrair.jp/special/recruit/202303/>

担当部署・連絡先：中部国際空港(株) 飛行場運用G 室 Mail：Ryosuke_Takara@cjiac.co.jp TEL:0569-38-7555

事業概要

○ 主体

宮崎空港ビル（株）

○ 名称

宮崎空港採用合同説明会2023

○ 内容

宮崎空港に携わっているグランドハンドリング、ビルマネジメント等の空港の安全・安心に携わ様々な事業者がブースを出展し、企業の紹介や採用に向けた説明会を開催

○ 導入の背景

深刻な人材不足の解消に向け、宮崎空港における関係企業7社による開催

○ 実績（波及効果）

CMやSNS広告の効果もあり想定を超える60名以上の事前予約があった

○ 他の支援制度との連携

「みやざきの空」航空ネットワーク維持・活性化事業（宮崎県）



【参考情報】

予算額：3,000,000円（今年度2回実施予定）

関連URL：<https://www.miyazaki-airport.co.jp/event/%e5%ae%ae%e5%b4%8e%e7%a9%ba%e6%b8%af%e6%8e%a1%e7%94%a8%e5%90%88%e5%90%8c%e8%aa%ac%e6%98%8e%e4%bc%9a2023>

担当部署・連絡先：宮崎空港ビル（株） 合同説明会担当 / 0985-51-5111

事業概要

○ 主体

成田国際空港(株)

○ 名称

スマートセキュリティの導入

○ 内容

成田空港全ターミナルの国際線及び第3ターミナルの国内線における出発保安検査場に最新の保安検査レーンや先進検査機器などの安全性・快適性と旅客処理能力が向上するスマートセキュリティを導入。検査トレーの返却や再検査手荷物の振り分けを自動で行う検査レーンに加え、高度な爆発物検知機能を有するX線検査機器やボディスキャナーを導入。一部のX線機器にはAIによる画像判定支援機能を搭載。

○ 導入の背景

万全の保安体制で東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を迎えるため、FASTTRAVELの一環として2020年4月に導入

○ 実績(波及効果)

安全性・快適性・旅客処理能力の向上に加え、保安検査員の負担軽減・労働環境の改善を実現

○ 他の支援制度との連携

- ・ 観光振興事業費補助金(検査レーン)
- ・ 空港警備機器整備費補助金(検査機器)



Smart Securityを導入した検査場(T1)

【参考情報】 関連URL: <https://www.naa.jp/jp/docs/20210312-security.pdf> (NAAホームページ)

担当部署・連絡先: 成田国際空港(株)(NAA) 保安警備部 航空保安対策グループ 25303KoukuHoan@naa.jp TEL: 0476-34-5693

事業概要

○ 主体

福岡国際空港(株)

○ 名称

GSE共用トライアル

○ 内容

国内線・国際線両エリアにおいて航空機牽引車、ベルトローダー、ハイリフトローダーをオンスタンド配置し、以下グループにより共用を実施

ANA⇔JAL / SAS⇔SKY / HTS⇔SPJ

○ 導入の背景

将来的なGSE置場不足への懸念と航空局主催の資機材WGにおいて共用の推進方針が示されたことを契機に、トライアルを実施

○ 実績（波及効果）

オンスタンド配置により各車両の移動距離が削減し、環境面、安全面向上に寄与
また共用により将来的なGSE車両削減への可能性を見出せた



(共用としたGSE車両)



(オンスタンド置場に駐車中のGSE車両)



(他社の機材を用いたハンドリング)

【参考情報】

関連URL：<https://www.mlit.go.jp/koku/content/001511707.pdf>

担当部署・連絡先：福岡国際空港(株) 経営企画本部 経営企画部 増設滑走路供用準備課 永田 mail:yuki-nagata@fukuoka-airport.co.jp
TEL:092-623-0610

事業概要

○ 主体

高松空港（株）

○ 名称

高松空港国際航空便受入機能強化支援事業

○ 内容

グラウンドハンドリング事業者に対して500万円を上限（1回限り）として、空港人材の教育、空港間での応援・支援、他空港での教育受講に要する経費を支援

○ 導入背景

高松空港国際線の早期運航再開には、コロナ禍の影響で減少した要員の確保が必須であったが、グラウンドハンドリング事業者においては国際線の運航再開が見通せない中で要員確保に係る経費負担が難しい状況にあったため

○ 実績（波及効果）

新規人材確保により国際線受入に係る要員体制を確保でき、地方空港において最初の国際線の運航再開が可能となった

【参考情報】

予算額：1,000万円

関連URL：なし

担当部署・連絡先：高松空港（株）空港営業部 営業第1グループ（眞鍋 090-5710-0209）

3. 自治体

GSE車両購入事業等(青森県)

事業概要

○ 主体

青森県

○ 名称

青森空港受入環境整備支援事業

○ 内容

・ GSE車両購入事業

→県がPS車を購入し、各事業者へ有償貸与

・ 青森空港合同企業説明見学会

→R5.3月に青森空港における空港業務関連企業に参加頂き、説明会及び見学会を実施



○ 導入の背景

・ GSE車両購入事業

→相次ぐ国際線の新規就航等により、オープンスポットを使用した場合の利便性向上を目的

・ 青森空港合同企業説明見学会

→グラハンスタッフの人材不足のなか、国際線再開が進むと更なる人材不足が懸念されることから、青森空港として事業者合同で採用説明会を実施

○ 実績 (波及効果)

GSE車両貸与・・・1～3回程度/年

合同説明会・・・参加者27名

【参考情報】

予算額：44,000千円 (PS車購入費)

担当部署・連絡先：青森県港湾空港課 港湾計画・空港グループ TEL：017-734-9674

事業概要

○ 主体

新潟空港整備推進協議会

○ 名称

新潟空港地上業務体制確保支援事業

○ 内容

新潟空港における国際線の運航再開や新規路線就航に対応するため、新潟空港の地上業務体制の確保に向けた取組を支援する

補助対象者：地上業務に従事する事業者

対象経費：人材確保、免許・資格取得、教育派遣、他空港等からの応援経費等

補助率：1/2～

○ 導入の背景

国際線の運航再開や新規路線就航の実現に向けて、地上業務の人員体制を確保するため



【参考情報】

予算額：令和5年度 24,250千円（補正予算）

関連URL：<https://www.niigata-airport.gr.jp/>（新潟空港トップページ）

【担当部署・連絡先】新潟県交通政策局空港課 ngt170040@pref.niigata.lg.jp TEL:025-280-5865

給油及び保安検査等事業者支援事業(佐賀県)

事業概要

○ 主体

佐賀県

○ 名称

佐賀空港給油体制強化事業費補助金
インバウンド誘客促進加速化事業

○ 内容

- ・ 給油事業者の人員体制の拡大のための事業経費への補助
- ・ 保安検査等事業者の人材確保のための研修経費への補助



○ 導入の背景

新規路線就航や増便の実現に向けて、航空機への給油作業等を行う人員体制の拡大や、保安検査等事業者の離職者増加による人員不足の解消に向けた支援を実施

○ 実績（波及効果）

航空会社が希望する時間帯に、新規路線就航や増便が行えるような給油体制を構築できている

○ 他の支援制度との連携

観光セクションが実施するインバウンド需要確保策と連携して取り組み、県内観光事業者の支援を図る

【参考情報】

予算額：令和5年度（給油）5,718千円 ・ （保安検査等）148,278千円（内数）

関連URL：<https://www.pref.saga.lg.jp/airport/default.html>（九州佐賀国際空港トップページ）

担当部署・連絡先：佐賀県地域交流部 空港課 kuukou@pref.saga.lg.jp TEL：0952-25-7104

事業概要

○ 主体

沖縄県

○ 名称

- ・ 那覇空港保安検査場緊急対策事業
- ・ 沖縄県管理空港保安検査場緊急対策事業

○ 内容

那覇空港及び県管理空港の保安事業を行う事業者等に対して、応援要員渡航費の支援、求人広報活動や就職説明会の開催、資格取得の支援を実施

○ 導入の背景

沖縄管内空港においては、コロナ禍の影響で減少した保安検査要員の確保が必須であり、夏頃から空港利用者のピークシーズンを迎えるにあたり、国際線の早期復便等に向けた受入体制の確保が必要な状況であったため

【参考情報】

予算額：（那覇空港）5,026千円
（県管理空港）7,320千円

担当部署・連絡先：（那覇空港） 沖縄県企画部交通政策課 TEL 098-866-2045
（県管理空港） 沖縄県土木建築部空港課 TEL 098-866-2400

4. 關係業界団体

事業概要

○ 主体

公益社団法人 日本航空技術協会

○ 名称

グランドハンドリング・コンテスト

○ 内容

全国のグランドハンドリングを専攻する学生が集う競技会を開催

この競技会により、参加者同士のグランドハンドリングの知識と技量が高まるとともに、開催準備の過程で学校や企業が抱える問題を共有することで、課題解決に向けた取組が期待できるため、業界の更なる活性化に繋がる

○ 実績（波及効果）

学生競技者の知識・技量を見学されたエアライン関係者やメディアからも高い評価を得た

○ 実施後の現在

コロナ禍の影響により今年度は、「グランドハンドリング発表会」として代表者のみ参加し、Web配信で全国の学生に共有



【参考情報】 参加人数：競技者・学校関係者37名/見学者81名/メディア8名/実施関係者20名
予算額：200,000円

【関連URL】 <https://www.jaea.or.jp>

【担当部署・連絡先】 日本航空技術協会：03-3747-7600